

助成額は初乗り運賃相当・引き続き利用する方も申請を

福祉タクシー利用券の更新について

重度心身障がい者福祉タクシー利用券

対象 町内在住で身体障害者

手帳1・2級または療育手帳(A・Aをお持ちの方)

利用券 1人年間最高36枚(申請した月により変わります)

利用できるタクシー 埼玉県乗用旅客自動車協会、福祉タクシー料金助成事業の協定を結んでいるタクシー事業所、埼玉県個人タクシー協同組合

※身体障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は、タクシー協会の厚意により運賃が1割引となります。

申請受付 4月1日(土)～(土曜日)は午前中のみ)

※障がい者自動車等燃料費補助と同一年度内での重複利用、変更はできません。

健康福祉課 福祉担当

☎内線 114

高齢者福祉タクシー利用券

対象 65歳以上で在宅にて生活し、前年度住民税非課税

世帯の方で、次のいずれかに該当する方

○一人暮らしで、要介護認定を受けている方

○高齢者世帯で、要介護認定を受けている方

○家族が就労や疾病などにより送迎を受けられない方で、要介護認定を受けている方

現在利用している方も年度ごとに申請が必要です

重度心身障がい者自動車等燃料費補助

障がいの通学、通勤、通院等のための自動車等燃料費の一部を助成します。

○一人暮らしで、要介護認定を受けている方

○高齢者世帯で、要介護認定を受けている方

○家族が就労や疾病などにより送迎を受けられない方で、要介護認定を受けている方

○公安委員会が交付する運転経歴証明書または運転免許の取消通知書をお持ちの方(身体の衰えなどを理由に運転免許証を自主返納した方。運転経歴証明書をお持ちでない方はご相談ください)

利用券 1人年間最高36枚(申請した月により変わります)

利用できるタクシー 越生タクシー、毛呂山タクシー、飛鳥交通毛呂山営業所

申請受付 4月1日(土)～(土曜日)は午前中のみ)

※重度心身障がい者福祉タクシー利用券と重複して受けることはできません。

健康福祉課 高齢者介護担当

☎内線 116

4月1日から

障がい(児)者診断書料等助成金交付制度が変わります

町では、身体障害者手帳の交付申請に必要な診断書の費用の一部を助成していましたが、4月から精神障害者保健福祉手帳の交付申請に必要な診断書の費用の一部も助成対象になりました。

対象 身体障害者手帳及び精神障害者保健福祉手帳の交付申請等(更新、再申請、程度変更の申請を含む)の際に添付する診断書に係る診断書料等

※精神障害者保健福祉手帳は、4月1日以降に作成された診断書が対象となります。

内容 診断書料の2分の1の額で、上限額5千円

必要書類 ○診断書の領収書

○本人名義の預金通帳またはキャッシュカード

健康福祉課 福祉担当

☎内線 114

該当する方は健康福祉課窓口で申請を

心身障がい児通園(学)奨励費補助金

日常生活に必要な知識等を身につけるため、通園・通学している心身障がい児の保護者へ補助金を交付します。

対象 町内に在住し、知的障害児通園施設・盲学校・ろう学校・特別支援学校等に通園・通学している18歳以下の子どもと同居している

保護者

補助金額 月額5千円

必要書類 ○印鑑

○身体障害者手帳または療育手帳

③運転者の運転免許証、④登録車の自動車検査証

※③・④は障がい者本人または越生町内に居住し障がいの者と同一生計の方に限りです。

申請受付 4月1日(土)～(土曜日)は午前中のみ)

※障がい者福祉タクシー利用助成と同一年度内での重複利用、変更はできません。

健康福祉課 福祉担当

☎内線 114

日常生活に必要な知識等を身につけるため、通園・通学している心身障がい児の保護者へ補助金を交付します。

対象 町内に在住し、知的障害児通園施設・盲学校・ろう学校・特別支援学校等に通園・通学している18歳以下の子どもと同居している

保護者

補助金額 月額5千円

必要書類 ○印鑑

○身体障害者手帳または療育手帳

○就園・就学証明書

○保護者名義の預金通帳

健康福祉課 福祉担当

☎内線 114

日常生活に必要な知識等を身につけるため、通園・通学している心身障がい児の保護者へ補助金を交付します。

対象 町内に在住し、知的障害児通園施設・盲学校・ろう学校・特別支援学校等に通園・通学している18歳以下の子どもと同居している

4月1日から

町では、身体障害者手帳の交付申請に必要な診断書の費用の一部を助成していましたが、4月から精神障害者保健福祉手帳の交付申請に必要な診断書の費用の一部も助成対象になりました。

対象 身体障害者手帳及び精神障害者保健福祉手帳の交付申請等(更新、再申請、程度変更の申請を含む)の際に添付する診断書に係る診断書料等

※精神障害者保健福祉手帳は、4月1日以降に作成された診断書が対象となります。

内容 診断書料の2分の1の額で、上限額5千円

必要書類 ○診断書の領収書

○本人名義の預金通帳またはキャッシュカード

健康福祉課 福祉担当

☎内線 114

日常生活に必要な知識等を身につけるため、通園・通学している心身障がい児の保護者へ補助金を交付します。

対象 町内に在住し、知的障害児通園施設・盲学校・ろう学校・特別支援学校等に通園・通学している18歳以下の子どもと同居している

保護者

補助金額 月額5千円

必要書類 ○印鑑

○身体障害者手帳または療育手帳

○就園・就学証明書

○保護者名義の預金通帳

健康福祉課 福祉担当

4月1日から・高齢者の総合相談窓口です

地域包括支援センターの業務を 社会福祉協議会に委託しました

町では、保健センター内で運営していた地域包括支援センターの業務を越生町社会福祉協議会に委託しました。これにより、専門職による、より充実した運営が行われ、高齢者の利便性が図られるようになります。

この地域包括支援センターは、地域で暮らすみなさんの介護・福祉・健康・医療などを総合的に支える窓口です。相談や援助には、保健師や主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）、社会福祉士の専門職員が対応します。お気軽にご相談ください。



健康福祉課 高齢者介護担当
TEL内線 115

委託先 社会福祉法人越生町社会福祉協議会
住所 越生町大字越生908、12（ゆうがく館内）
電話番号 299-5532

4月29日の 土曜開庁は お休みします

4月29日（土）は祝日にあたるため、土曜開庁業務はお休みとなります。ご不便をおかけしますが、ご理解をお願いします。



総務課 庶務担当
TEL内線 212

平成 29 年度高齢者肺炎 球菌ワクチン予防接種 （定期・任意）について

肺炎は、死亡原因の第3位です。高齢者肺炎球菌予防接種を受けることで、肺炎の原因で一番多い肺炎球菌による肺炎の予防や、かかっても軽い症状ですむ効果があります。まだ受けていない方には接種をオススメします。

保健センター TEL292-5505

	定期の予防接種 <small>（国の制度、予防接種法に基づき実施する予防接種）</small>	任意の予防接種 <small>（町の制度、予防接種法に基づかない予防接種）</small>
対象	①年度内（平成29年4月1日～30年3月31日）に、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方 ②60歳以上65歳未満の方で、心臓や腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害がある方、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害がある方 ※高齢者肺炎球菌ワクチンを一度も受けたことのない方に限ります。	今年度定期接種に該当しない66歳以上の方 ※高齢者肺炎球菌ワクチンを一度も受けたことのない方に限ります。
接種期間	平成29年4月1日（土）～30年3月31日（土）	
接種費用	自己負担額 3,000 円 ※接種費用7,200円のうち、4,200円を町が費用助成しますので、自己負担金3,000円を接種する医療機関にお支払いください。	
接種方法	①保健センター窓口で予診票を受け取る。 ②予防接種を受ける医療機関に予約をする（生活保護受給者は受給者証をお持ちください）。 ③予約日に予診票と健康保険証を持参のうえ、医療機関で予防接種を受ける。	
接種場所	○町が契約している医療機関 ○町と埼玉県医師会が契約し、接種協力医の登録をされている医療機関	町が契約している医療機関
町の契約医療機関	越生町 市川医院（TEL292-3011）、越生メディカルクリニック（TEL277-1119）、かあいファミリークリニック（TEL299-6222） 毛呂山町 ゆずの木台クリニック（TEL295-5158）、長瀬クリニック（TEL295-0708）、初野医院（TEL294-7713）、おっぺ小児科アレルギー科クリニック（TEL295-5550）、ハピネス会川角クリニック（TEL295-3959）、埼玉医科大学病院（TEL276-1125）、丸木記念福祉メディカルセンター（TEL276-1496）、街かどのクリニック（TEL298-5357）	